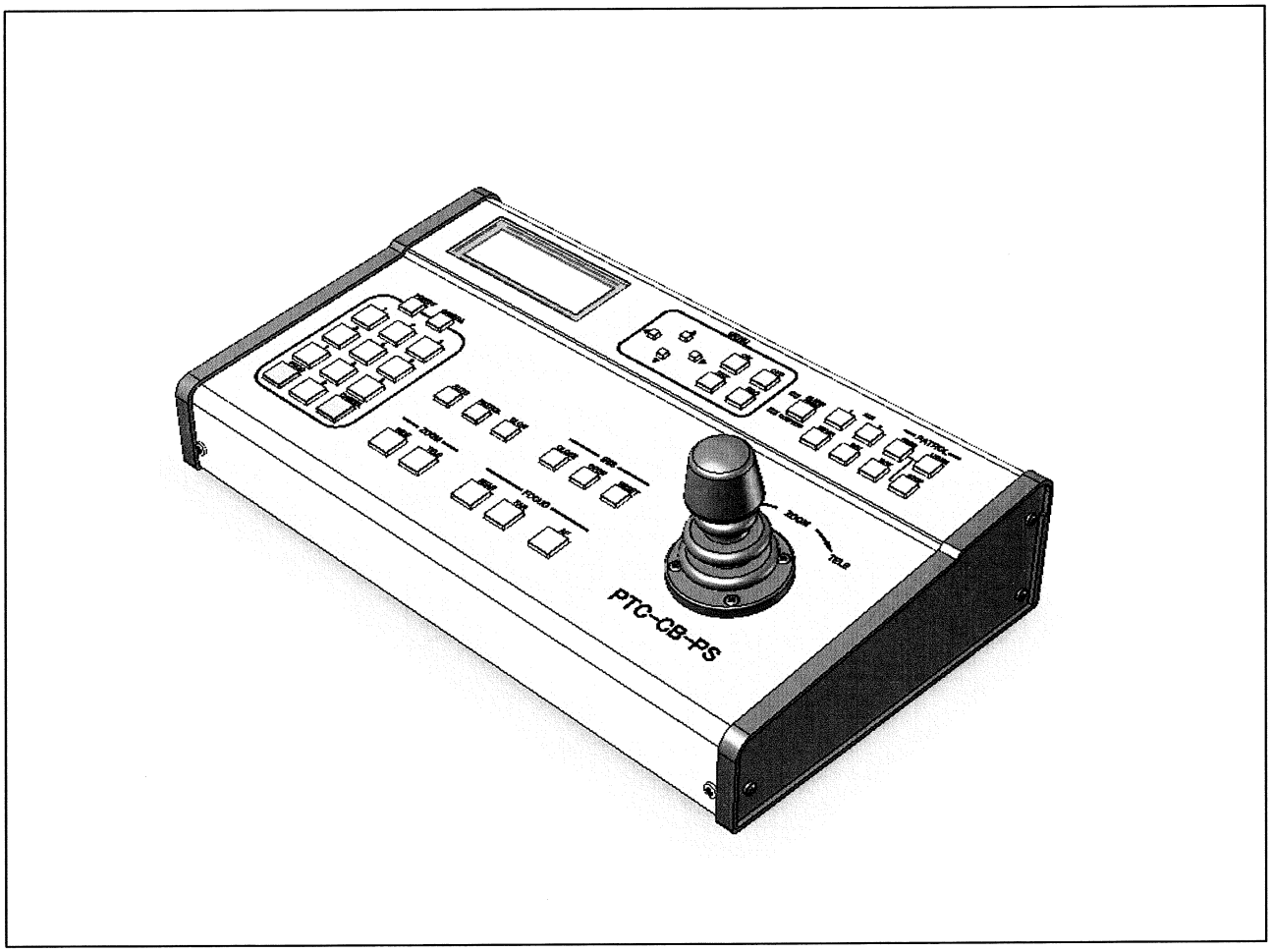
取扱説明書

システムコントローラー

品番 PTC－CB－PS



このたびは、システムコントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

・この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」のページは、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

MIKAMI & CO., LTD.

商品概要

本機は、PS・Data(Panasonic Security・Data)モードに対応したシステムコントローラーです。

・PS・Data モードのシステム機器（一部機器のみ）をコントロールできます。また、これらの機器に接続されているカメラを操作することもできます。
対応機器は、同軸通信ユニット（PTC - MCX - PS　株式会社ミカミ製）のみとなります。その他機器に関しては販売店にお問い合わせください。

・本機１台で PS・Data モード対応のシステム機器（一部機器のみ）を複数台操作できます。

・プリセット式コンビネーションカメラ(カメラ・水平垂直回転台一体型のカメラ)やレシーバーなどのカメラ側機器を１対１で制御することができます。

・映像信号に制御信号を重畳することでカメラ制御が可能です。

・アラーム出力端子を内蔵して、カメラのモーションディテクタ機能などのアラーム信号を外部に出力します。

付属品をご確認ください

取扱説明書(本書)　・・・・・・・・　1
AC アダプタ　・・・・・・・・・・　1
モジュラーケーブル（約３m）・・　1

免責について

この商品は、PS・Data(Panasonic Security・Data)モード対応のシステム機器（一部機器のみ）およびこれらの機器に接続された監視カメラを操作するシステムコントローラーです。この商品単独で、監視システムを構成するものではありません。

・弊社は、通常の保証を除き、如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
② お客さまの誤用や不注意による障害または本商品の破損等。
③ お客さまによる本商品の分解、修理または改造がおこなわれた場合。
④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、ご所望の映像が表示できないことによる不便・損害・被害。
⑤ PS・Data に対応しない機器または第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。

もくじ

商品概要 2
付属品 2
免責について 2
目次 3
安全上のご注意 5
操作上のお願い 7
各部の名前と働き 8
操作を始める前に 12
電源の入れかた、切りかた 12
基本的な操作の流れ 13
● ＰＳ・Ｄａｔａの場合 13
● 同軸多重制御の場合 14
操作する機器を選択する 15
システム機器を選択する 15
カメラを選択する 16
カメラを操作する 17
パン・チルトの操作 17
ズームの操作 17
フォーカス(ピント)の操作 18
アイリス(絞り)の操作 18
コンビネーションカメラ固有の操作 19
● プリセットポジションの操作 19
● ホームポジションの操作 20
● オートパンの操作 21
● カメラパトロール機能の操作 22
● カラー映像を白黒映像に切り換える 23
カメラハウジング・外部機器を操作する 24
カメラハウジングを操作する 24
● デフロスターの操作 24
● ワイパーの操作 24
外部機器を操作する 25
アラームを操作する 26
アラーム発生時の動作 26
アラームを解除する 27
● 自動解除 27
● 手動解除 27

アラームを抑止する 27
セットアップのしかた 28
本機のセットアップ手順 28
ＤＡＴＡスイッチを設定する 29
ＭＯＤＥスイッチを設定する 30
コントローラ番号の設定する 30
本機のセットアップメニューを表示・設定する 31
● ＰＳ・Ｄａｔａの場合 31
● 同軸多重制御の場合 37
システム機器をセットアップする 41
システム機器のセットアップのしかた 41
カメラをセットアップする 42
カメラのセットアップのしかた 42
工事説明 43
各部の名前と働き（後面） 44
接続のしかた 46
同軸多重制御の場合 46
ＰＳ・Ｄａｔａの場合（一部機器を除く） 47
● 基本的な接続のしかた 47
● アラーム機器との接続 48
仕様 49
● データ端子の仕様 50

必ずお守りください

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表記で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

・ 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない

禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

・ ただちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因になります。

・ 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

・ ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

・ ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない

禁止

落下によるけがの原因になります。

⚠警告

ＡＣアダプタのほこり等は定期的にとる

ＡＣアダプタにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

・ ＡＣアダプタを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード・ＡＣアダプタを破損させるようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

・ ただちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

・ 傷んだＡＣアダプタ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、ＡＣアダプタの抜き差しはしない

ぬれて禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流１００Ｖ以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠注意

指定以外の装置を接続しない

禁止

けがなどの原因になることがあります。

振動や強い衝撃を与えない

禁止

火災や感電、故障の原因になります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

禁止

火災や感電、故障の原因になります。

操作上のお願い

⚠警告、⚠注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

● **付属のＡＣアダプタ以外の電源は使用しないでください。**
故障や感電の原因となります。

● **直射日光の当たる場所での使用は避けてください。**
高温下での使用は避けてください。

● **ていねいにお取り扱いください。**
落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

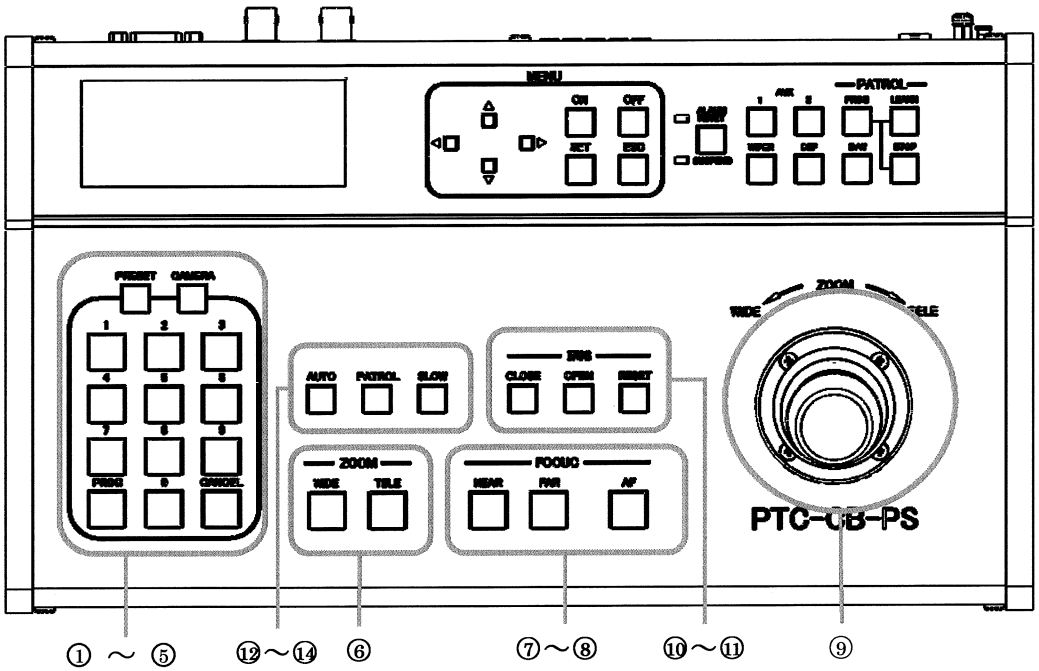
● **使用温度範囲をお守りください。**
０℃以下の寒いところや、＋４０℃以上の暑いところで使用しないでください。

● **厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。**

● **お手入れについて**
ＡＣアダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、台所用洗剤(中性)を水で薄め、柔らかい布にしみ込ませ、固く絞り、軽くふいてください。その後、柔らかい布で洗剤成分をふきとってください。
ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと、変質したり塗料がはげることがありますので避けてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

各部の名前と働き

＜前面＞



① [0] ～ [9] ：テンキー

カメラ番号、プリセット番号など、数字を入力するときに使います。

② [PRESET] ：プリセット(ＰＲＥＳＥＴ)ボタン

コンビネーションカメラのプリセットポジションやホームポジションを呼び出すときに使います。 [PROG] と組み合わせてプリセットポジションを登録することができます。

③ [CAMERA] ：カメラ(ＣＡＭＥＲＡ) ボタン

カメラを選択するときに使います。

④ [PROG] ：プログラム(ＰＲＯＧ) ボタン

コンビネーションカメラのプリセットポジションを登録するときに使います。

⑤ [CANCEL] ：キャンセル(ＣＡＮＣＥＬ) ボタン

入力した数字を取り消すときに使います。

⑥ WIDE □ TELE □ ：ズーム広角・望遠（WIDE・TELE）ボタン
カメラのズームを調節するときに使います。

⑦ NEAR □ FAR □ ：フォーカス 近・遠（NEAR・FAR）ボタン
カメラのピントを調節するときに使います。

⑧ AF □ ：オートフォーカス(AF）ボタン
カメラのオートフォーカス機能を使用するときに使います。

⑨ ：ジョイスティック
コンビネーションカメラや回転台をパン・チルトするときに使います。ジョイスティック上部のボリュームをまわすことでズームの調節ができます。

⑩ CLOSE □ OPEN □ ：アイリス 閉・開（CLOSE・OPEN）ボタン
カメラの絞りを調節するときに使います。

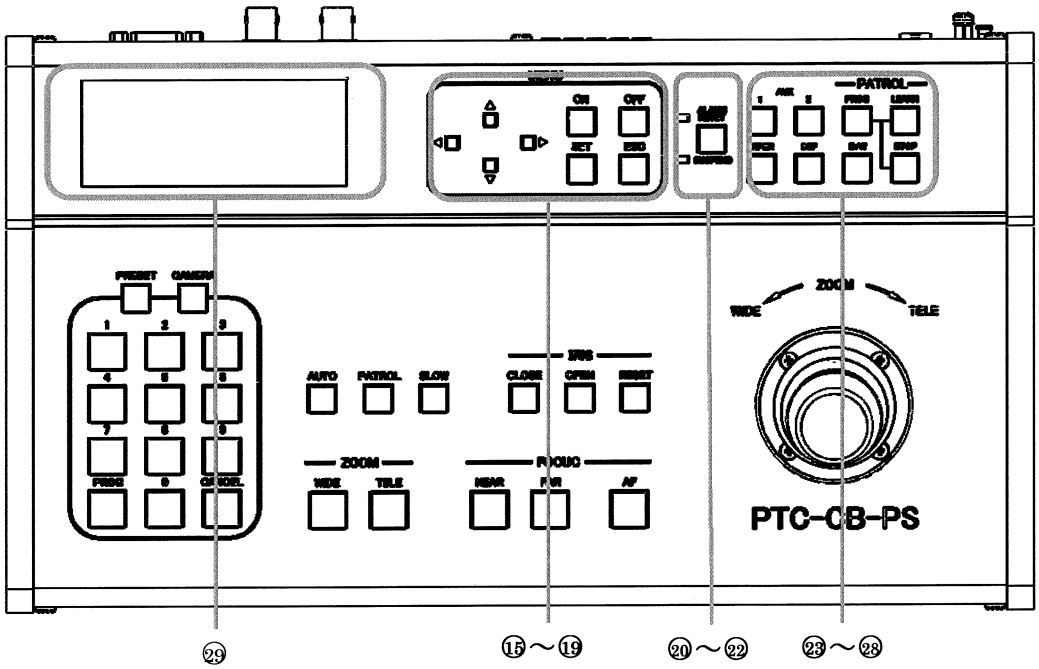
⑪ RESET □ ：アイリス リセット（RESET）ボタン
カメラの絞りをお買い上げ時の状態に戻す時に使います。

⑫ AUTO □ ：オート(AUTO）ボタン
コンビネーションカメラのオートパン・ランダムパン・オートソート・オートシーケンス機能を実行するときに使います。

⑬ PATROL □ ：パトロール(PATROL）ボタン
コンビネーションカメラのカメラパトロール機能を実行するときに使います。

⑭ SLOW □ ：スロウ(SLOW）ボタン
コンビネーションカメラまたは回転台のパン・チルトの動作速度を低速にします。

＜前面＞



⑮ ON ：メニュー機能(ON)ボタン
コンビネーションカメラ、システム機器や本機のメニュー機能を実行するときに使います。

⑯ OFF ：メニュー機能(OFF)ボタン
コンビネーションカメラ、システム機器や本機のメニュー機能を終了するときに使います。

⑰ SET ：メニュー機能(SET)ボタン
セットアップ中に、決定もしくは設定項目を選択して下層に入るときに使います。

⑱ ESC ：メニュー機能(ESC)ボタン
セットアップ中に、上層に戻るときに使います。

⑲ ：カーソル移動ボタン
設定項目を上下左右へ移動するときに使います。

⑳ ALARM RESET / SUSPEND ：アラームリセット(ALARM RESET)・アラーム抑止(SUSPEND)ボタン
アラームを解除したり、アラームの入力を一時的に抑止したいときに使います。

㉑ □(上段)：アラームLED
アラームが発生したときに点滅します。アラームが自動的に解除されると点灯に変わります。アラームを手動で解除すると消灯します。

㉒ □(下段) アラーム抑止LED
アラームを抑止しているときに点灯します。

㉓ AUX 1 □ 2 □ ：外部制御１・外部制御２(AUX１・AUX2)ボタン
外部制御１及び外部制御２をON／OFFするときに使います。

㉔ WIPER □ ：ワイパー(WIPER)ボタン
カメラハウジングのワイパーをON／OFFするときに使います。

㉕ DEF □ ：デフロスター(DEF)ボタン
カメラハウジングのデフロスターをON／OFFするときに使います。

㉖ B/W □ ：白黒切換(B/W)ボタン
カメラ映像を白黒に切り換えるときに使います。

㉗ PROG □ ：カメラパトロール プログラム(PROG)ボタン
コンビネーションカメラのカメラパトロール機能を記憶するときに使います。

㉘ LEARN □ STOP □ ：カメラパトロール 記憶開始・停止(LEARN・STOP)ボタン
カメラパトロール機能の記憶を開始及び停止するときに使います。

㉙ ディスプレイ
選択中のカメラ番号・コンビネーションカメラの状態を表示します。
PROG □ を押しながら CANCEL □ を押すことで、バックライトの点灯・消灯を切り換えます。

操作を始める前に

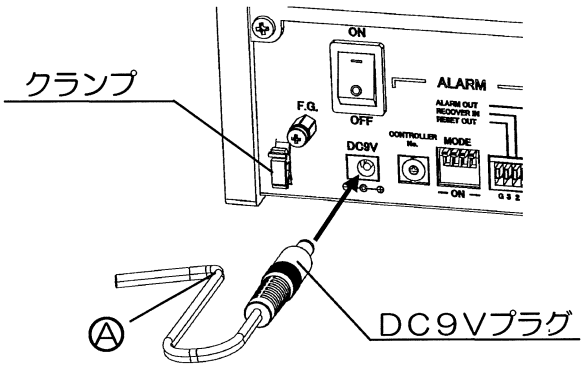
電源の入れかた

本機の電源の入れかたを説明します。

操作手順

1. 付属のＡＣアダプタを電源コンセント（ＡＣ１００Ｖ）に差し込み、ＤＣ９Ｖプラグを後面の電源入力端子に接続します

※ＤＣ９Ｖプラグの㋐の部分はクランプに差し込んで固定してください。

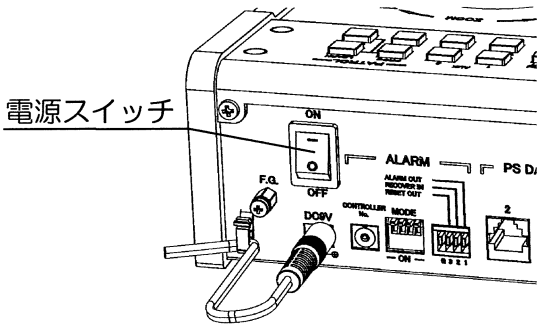


2. 電源スイッチを「ＯＮ」にします

電源が入ると、ディスプレイに通信モード、カメラ選択画面の順に表示されます。

※ 長期間使用しないときは、ＡＣアダプタを電源コンセントから抜いてください。
本体背面の電源入力端子からＤＣ９Ｖプラグを抜いても、電源コンセントにＡＣアダプタが接続されていると、ＡＣアダプタで電源を消費しています。

※ システムセッテイメニューでスイッチブザーの設定ＯＮにすると、起動時に起動音がなります。



電源の切りかた

本機の電源の切りかたを説明します。

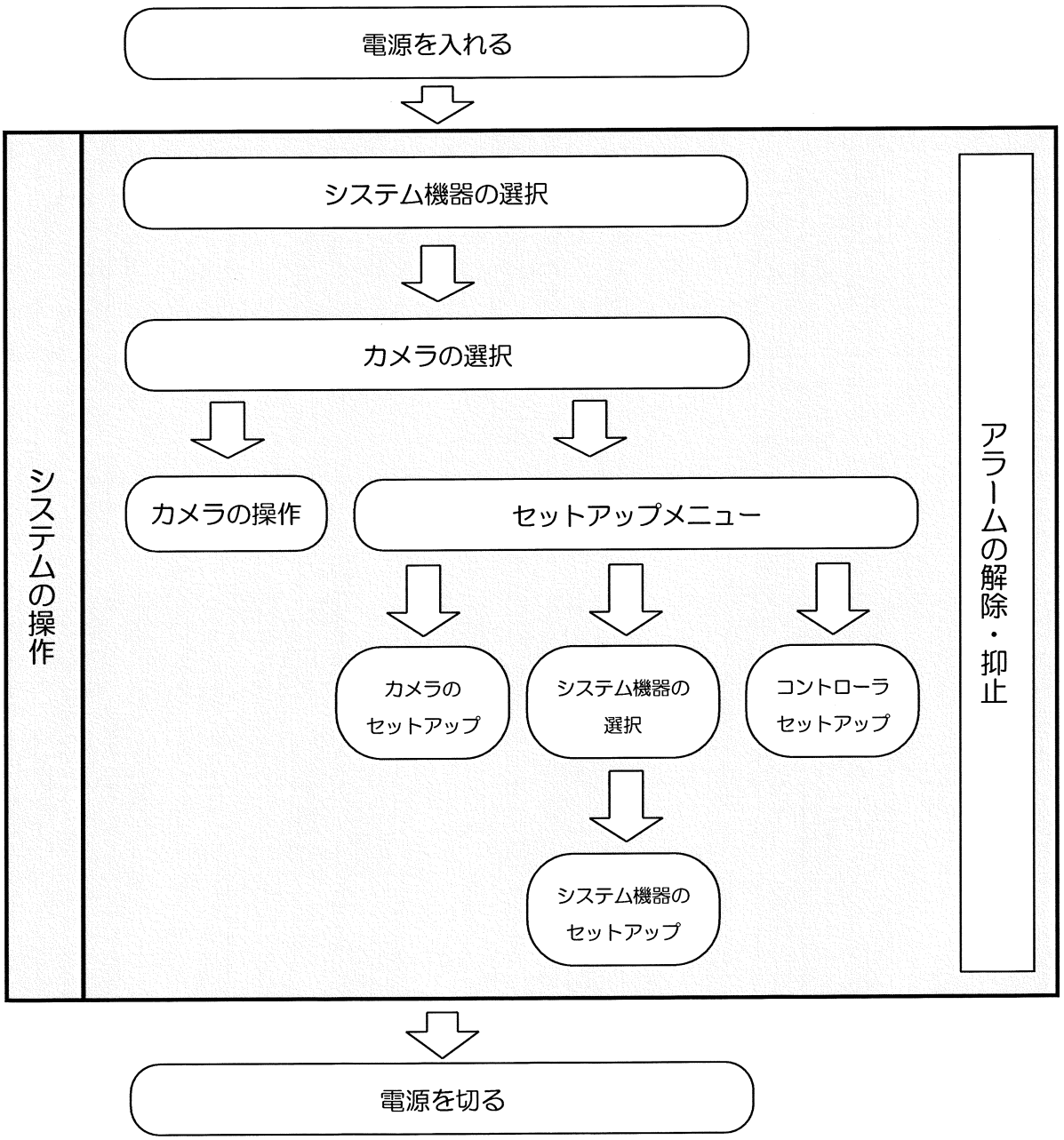
操作手順

1. 電源スイッチを「ＯＦＦ」してから、ＡＣアダプタを電源コンセントから抜きます

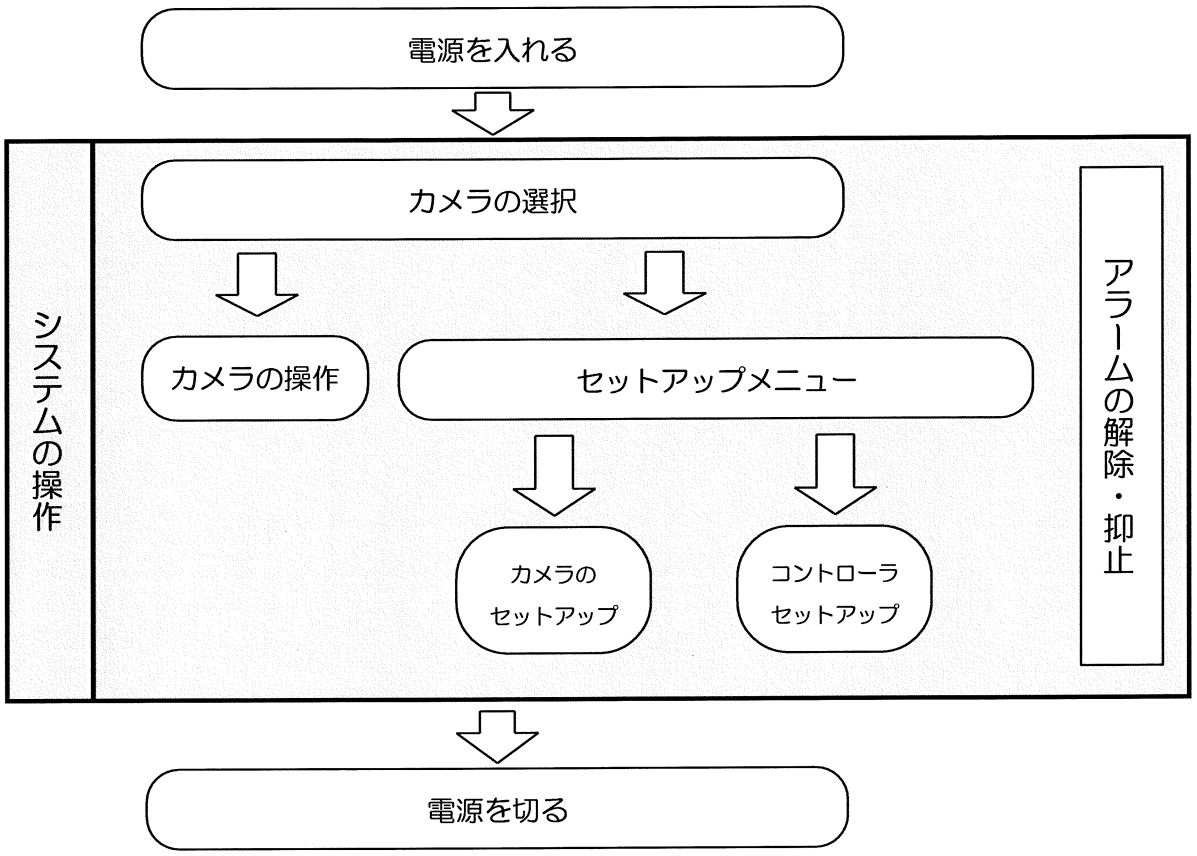
電源が切れると、ディスプレイの表示が消えます。

基本的な操作の流れ

● ＰＳ・Ｄａｔａの場合



●同軸多重制御の場合


電源を入れる
システムの操作
カメラの選択
カメラの操作
セットアップメニュー
カメラの
セットアップ
コントローラ
セットアップ
アラームの解除・抑止
電源を切る

操作する機器を選択する

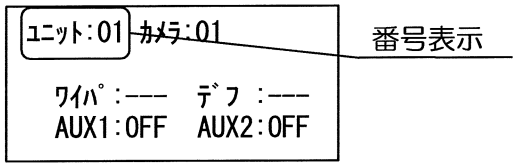
システム機器を選択する

ＰＳ・Ｄａｔａモードのシステムは、システム機器ごとにユニットアドレスと呼ばれる番号を設置時に設定します。この番号で操作したい機器を選択してから各機器を操作します。各機器のユニットアドレスをあらかじめ確認してから操作してください。

操作手順

1.　システム機器の番号を選択するため

カーソル移動ボタンを押します



システム機器が選択され、ディスプレイに選択しているカメラの状態が表示されます。

□▶ ボタンで、ユニットアドレスが増加し

◀□ ボタンでユニットアドレスが減少します。

※ユニットアドレスの入力は１～９９まで有効となります。

※設定されていないユニットアドレスを選択した場合はカメラ状態が表示されません。

※電源投入時はユニットアドレス１が自動的に選択されます。

※モード設定スイッチの４番をＯＮに設定したさいは、カメラ選択を直接おこなうことでシステム機器の選択を省くことができます。

カメラを選択する

システム機器に複数のカメラがある場合、操作するカメラを選択できます。映像を表示するカメラを切り換えたいときもこの操作をおこないます。

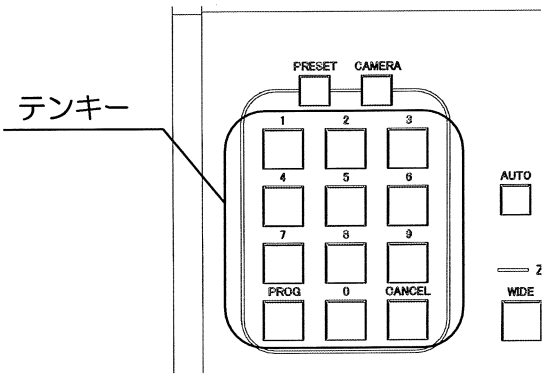
操作手順

1. 操作したいカメラの番号をテンキーで入力します

入力した番号がディスプレイに表示されます。

入力した数字を取り消す場合は、CANCEL キーを押します。

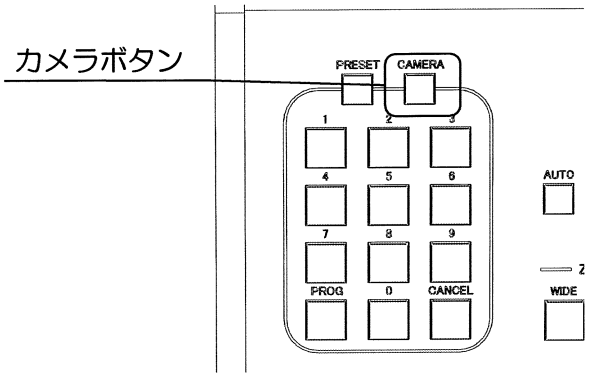
※ＣＯＡＸモードで電源を「ＯＮ」した場合は、カメラ番号の１番を選択して起動します。
※カメラ番号の入力は１～１９９まで有効となります。



2. CAMERA を押します

カメラが選択され、ディスプレイにカメラの状態を表示して操作できる状態になります。モニターに選択したカメラの映像が表示されます。

※ 誤ったカメラ番号を選択した場合は、選択前の表示に戻ります。
カメラ番号を確認して、再度操作してください。



システム機器を選択せずにカメラを選択するには

・モード設定スイッチの４番をONにすることで操作したいカメラをダイレクトに選択できます。
同軸通信ユニットを、ＰＳ・Ｄａｔａモードに設定し、CAMERA CONFＩGメニューで下表のように設定してください。カメラ番号の選択のみでカメラを選択することができます。

ユニットアドレス	カメラ番号
1	CAMERA ＩＮ １CHから順に 1、2、3、4
2	CAMERA ＩＮ １CHから順に 5、6、7、8
3	CAMERA ＩＮ １CHから順に 9、10、11、12
4	CAMERA ＩＮ １CHから順に 13、14、15、16

カメラを操作する

パン･チルトの操作

回転台やコンビネーションカメラがシステム機器または本機に接続されているときに操作できます。

操作手順

1. 操作したいカメラを選択します
2. を傾けます

   ジョイスティックの傾ける角度を大きくするほど速く旋回します。

   ※旋回速度は、カメラにより異なります。

ズームの操作

カメラに電動ズームレンズが取り付けられているときに操作できます。

操作手順

1. 操作したいカメラを選択します
2. を回します

   WIDE □ または TELE □ を押します

   ズームの倍率が変化します。

   または TELE □ で望遠、

   または WIDE □ で広角になります。

   ※倍率は、カメラに取り付けられているレンズにより異なります。

フォーカスの操作

カメラにピント調節可能なレンズが取り付けられているときに操作できます。

操作手順

1. 操作したいカメラを選択します
2. NEAR □ または、FAR □ を押します

「FAR」で遠くにピントを合わせ、「NEAR」で近くにピントを合わせます。

〈オートフォーカスでピントを合わせるには〉

オートフォーカス機能を使って、画面中央の被写体に自動でピントを合わせることができます。

操作手順

1. AF □ を押します

押したときの画面に対してのみ、オートフォーカスが働き、自動でピントを合わせます。

※被写体によっては、ピントが合いづらい場合やピントが合うまで時間が掛かる場合があります。

アイリスの操作

カメラに絞り調節可能なレンズが取り付けられているときに操作できます。

操作手順

1. 操作したいカメラを選択します
2. CLOSE □ または、OPEN □ を押します

「OPEN」で絞りを開き、「CLOSE」で絞りを閉じます。

※アイリスをリセットするには、RESET □ を押します。

コンビネーションカメラ固有の操作

ここではコンビネーションカメラ固有機能の操作のしかたについて説明します。操作を始める前にコンビネーションカメラの設定が完了している必要があります。設定のしかたについてはコンビネーションカメラの取扱説明書をお読みください。

● プリセットポジションの操作

プリセット機能とは、監視場所に番号をつけてカメラに登録しておくことによって、本機から登録した番号を入力するだけで番号に対応した位置にカメラを旋回させる機能です。この操作をおこなうためには、あらかじめプリセットポジションをカメラに登録しておく必要があります。

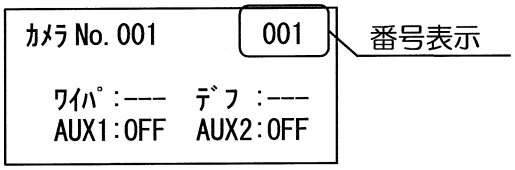
＜プリセットポジションを実行する＞

操作手順

1. 操作したいカメラを選択します

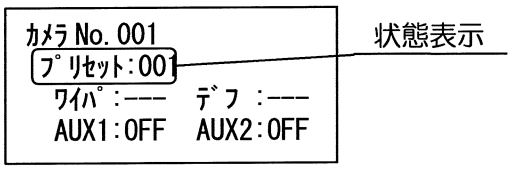
2. テンキーでプリセット番号を入力します

入力した番号がディスプレイに表示されます。



3. PRESET □ を押します

登録されているプリセットポジションにカメラが旋回し、その位置の映像がモニターに表示されます。



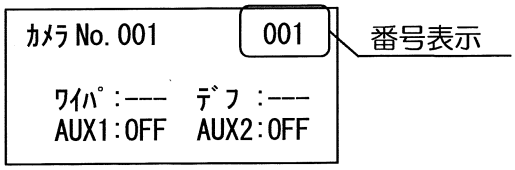
＜プリセットポジションを登録する＞

操作手順

1. 登録したいカメラ位置にカメラの向きを合わせます

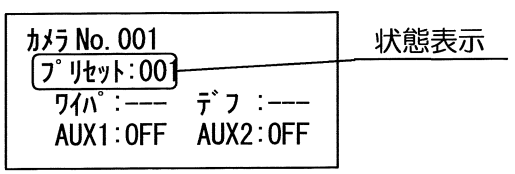
2. 登録したいプリセット番号をテンキーで入力します

入力した番号がディスプレイに表示されます。



3. PROG □ を押しながら PRESET □ を押します

プリセットポジションが登録され、映像が表示されているモニターに登録メッセージが表示されます。



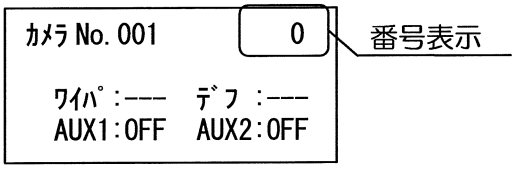
※既にプリセットポジションが登録されている番号で、登録をおこなうと上書きされますので、ご注意ください。

● ホームポジションの操作

ホームポジションとは、監視時に基点となるプリセットポジションのことです。本機の操作で、カメラをホームポジションに旋回させることができます。この操作をおこなうためには、あらかじめホームポジションをカメラに登録しておく必要があります。機能の詳細はお使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

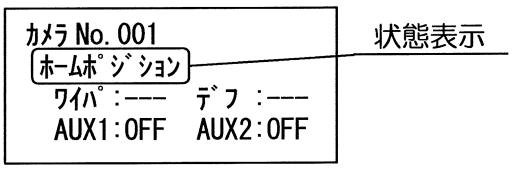
1. 操作したいカメラを選択します



2. PRESET □ を押します または

0 □ を入力してから、PRESET □ を押します

ホームポジションにカメラが旋回し、その位置の映像がモニターに表示されます。



● オートパンの操作

カメラのオートパンを実行します。この操作をおこなうためには、あらかじめオートパン機能をコンビネーションカメラに設定しておく必要があります。機能の詳細はお使いになるカメラの取扱説明書をご覧ください。

操作手順

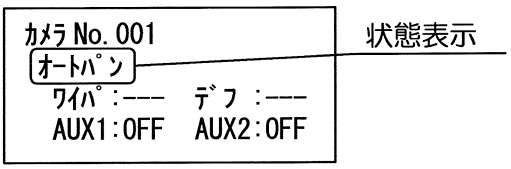
1. 操作したいカメラを選択します

2. AUTO □ を押します

オートパンが実行されます。

コンビネーションカメラに登録されている内容に従って自動的に旋回し映像をモニターに表示します。また、テンキーとの組み合わせで他のオート操作を実行できます。

※ジョイスティックでパン・チルト操作をおこなうとオートパンを終了します。



テンキーとオートボタンとの組み合わせで実行できる機能

使用するコンビネーションカメラによっては次の機能を実行できます。

- 1 □ を押してから AUTO □ → オートパン
- 2 □ を押してから AUTO □ → オートソート
- 3 □ を押してから AUTO □ → オートシーケンス
- 4 □ を押してから AUTO □ → ランダムパン

※ジョイスティックでパン・チルト操作をおこなうとオート動作を終了します。

● カメラパトロール機能の操作

カメラパトロールとは、ジョイスティックやズーム操作などの操作内容をコンビネーションカメラに記憶させ、実行する機能です。この機能はカメラパトロール機能のあるコンビネーションカメラが接続されているときに使用できます。

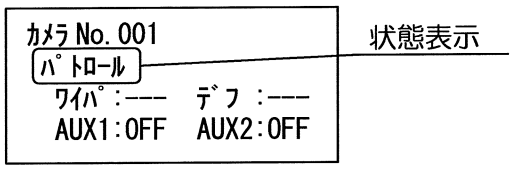
<カメラパトロールを実行する>

操作手順

1. 操作したいカメラを選択します

2. PATROL □ を押します

コンビネーションカメラに記憶されている内容に従ってカメラが動作し、映像がモニターに表示されます。



※ジョイスティックでパン・チルト操作をおこなうとカメラパトロールは自動的に終了します。

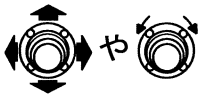
<カメラパトロールを設定する>

操作手順

1. 操作したいカメラを選択します

2. PROG □ を押しながら LEARN □ を押します

カメラパトロールの記憶が開始されます。映像が表示されているモニターに設定中メッセージが表示されます。

3.  などの操作で、

記憶させたい動作を行います

パン／チルト／ズーム／フォーカス／アイリス／プリセットポジションなどの動作を記憶できます。

4. PROG □ を押しながら STOP □ を押します

カメラパトロールの記憶が終了します。

● 白黒モード切換

カメラ映像を、カラーから白黒に切り換えることができます。暗いところを監視していて、感度を上げたいときなどに使います。

操作手順

1. 操作したいカメラを選択します

2. B/W □ を押します

カラー映像が白黒で表示されます。

3. カラー映像に戻す時は B/W □ を押します

カラー映像に戻ります。
※カメラ側の白黒切換機能の設定がＡＵＴＯに設定されている場合、操作できません。本機で切り換えるときはカメラの設定を変更してください。

カメラハウジング・外部機器を操作する

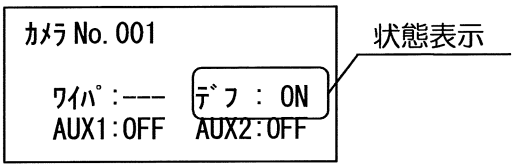
カメラハウジングを操作する

● デフロスターの操作

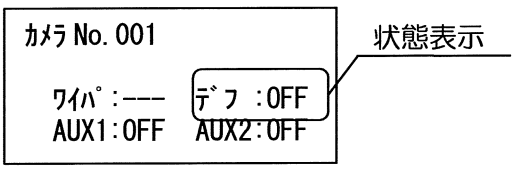
デフロスター付きのカメラハウジングが接続されているときに操作できます。

操作手順

1. カメラを選択します
2. DEF □ を押します
   デフロスターが動作します。



3. 停止させる時は DEF □ を押します
   デフロスターが停止します。

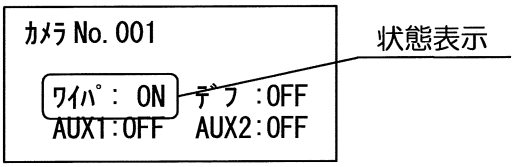


● ワイパーの操作

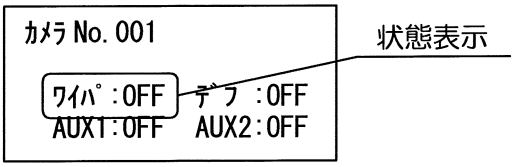
ワイパー付きのカメラハウジングが接続されているときに操作できます。

操作手順

1. カメラを選択します
2. WIPER □ を押します
   ワイパーが動作します。



3. 停止させる時は WIPER □ を押します
   ワイパーが停止します。



外部機器を操作する

システム機器にレシーバーなどの外部制御器が接続されているときに操作できます。

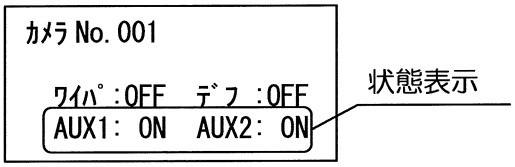
操作手順

1. 外部制御機器が接続されているシステム機器、
カメラを選択します

ラッチモードの場合

2. AUX 1 □ □ 2 を押します

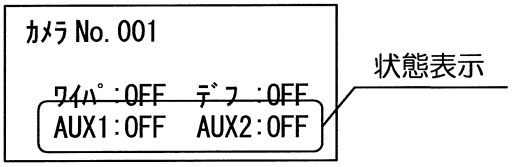
外部機器１または外部機器２が動作します。



3. 停止させるときは

AUX 1 □ □ 2 を押します

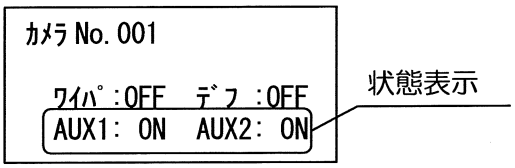
外部機器１または外部機器２が停止します。



モーメンタリーモードの場合

2. AUX 1 □ □ 2 を押します

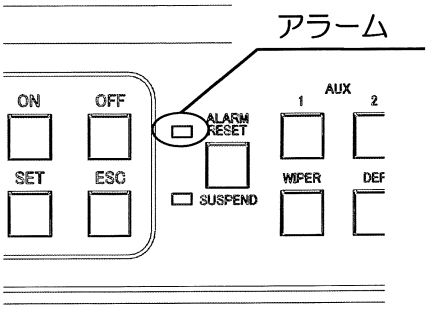
押している間だけ、外部機器１外部機器２が動作します。



アラームを操作する

アラーム発生時の動作

システム機器やカメラからアラーム信号が入力されると、次の動作を自動的におこなって、アラームが発生したことをお知らせします。



（1）モニターに文字（ＡＬＡＲＭ）を表示します。

（2）アラームＬＥＤを点滅します。（自動解除は点灯）

（3）ディスプレイに文字（ＡＬＡＲＭ）を表示します。

（4）アラームに対応したプリセットポジションに映像を切り換えます。
（本機にコンビネーションカメラを接続している場合）

（5）アラーム信号を出力します。
アラームが自動解除または手動解除されるまで、本機に接続しているシステム機器にアラームを出力します。

アラームＬＥＤ	点滅	アラームが発生しました。
	点灯	アラームを自動で解除しました。
	消灯	アラームを手動または外部機器で解除しました。

コントローラーセットアップメニューで設定を変更できます。

- 文字（ALARM）をモニターに表示する／しないを設定できます。
- ブザー音のＯＮ／ＯＦＦを設定できます。
- 対応するプリセットポジション番号を設定できます。
- アラーム出力時間（自動解除までの時間）を設定できます。

アラームを解除する

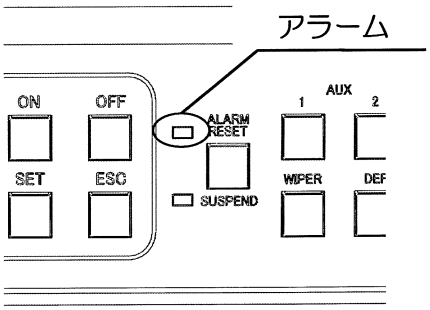
アラームの解除のしかたには自動解除と手動解除があります。

アラームが解除されるとモニター及びディスプレイに表示されている文字（ＡＬＡＲＭ）が消えます。

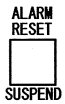
● 自動解除

アラーム出力時間を設定している場合、設定時間を経過すると自動的に解除されます。この場合、アラームＬＥＤが点滅→点灯に変わります。アラームＬＥＤを消灯させる場合は、手動解除の操作を行ってください。

● 手動解除



1. アラームＬＥＤ点滅中に



を押します

アラームＬＥＤが消灯し、アラームが解除されます。

操作をおこなう前に

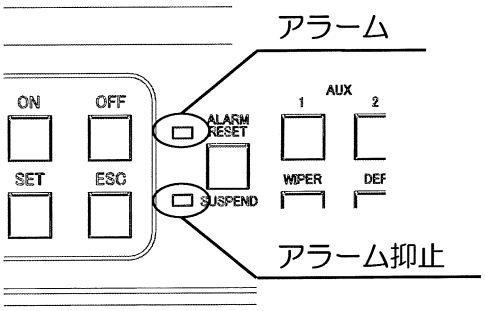
アラーム抑止の設定は解除してください。

外部機器による解除のしかた

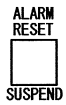
本機後面にあるＡＬＡＲＭ ＲＥＣＯＶＥＲ ＩＮ端子にアラーム復帰信号（無電圧メイク接点）を入力することもできます。この方法でアラームを解除すると、アラームＬＥＤが点滅→消灯に変わります。

アラームを抑止する

カメラや本機の設定中などアラームを無視したいときに使用します。



1. アラームＬＥＤ消灯中に



を押します

アラーム抑止ＬＥＤが点灯し、アラーム抑止が設定されます。

以後発生したアラームは無視されます。

アラーム抑止を解除するときは、再度ボタンを押します。

セットアップのしかた

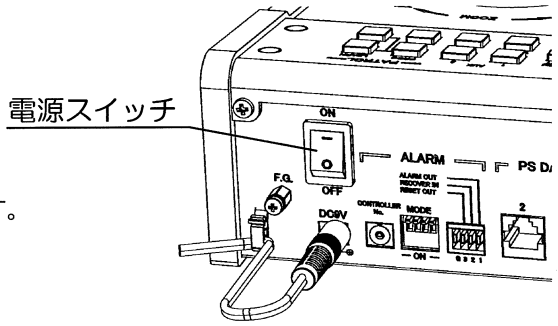
本機はシステム環境に合わせて以下のセットアップができます。

・本機のセットアップ

・PS・Dataモード対応のシステム機器のセットアップ

・システムカメラ、コンビネーションカメラのセットアップ

本機のセットアップ手順



1. 電源スイッチを「ＯＦＦ」にします

2. ＤＡＴＡスイッチを設定します

本機とカメラ及びシステム機器との通信方法を設定します。

3. ＭＯＤＥスイッチを設定します

ＲＳ４８５通信もしくはＰＳ・ＤＡＴＡの場合に終端ＯＮ／ＯＦＦと通信方法を設定します。

4. コントローラー番号を設定します

本機を複数台ディジーチェーン接続して使用するときに設定します。

5. 電源スイッチを「ＯＮ」にします

6. 本機をセットアップします

本機のコントローラセットアップメニューを表示し、本機を設定します。

設定内容をお買い上げ時の状態に戻すには

・次の手順で操作すると、設定した内容を初期化して、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

（1）電源スイッチをＯＦＦにします。

（2）テンキー 2 4 6 を同時に押しながら電源スイッチをＯＮにします。

ＤＡＴＡスイッチの設定

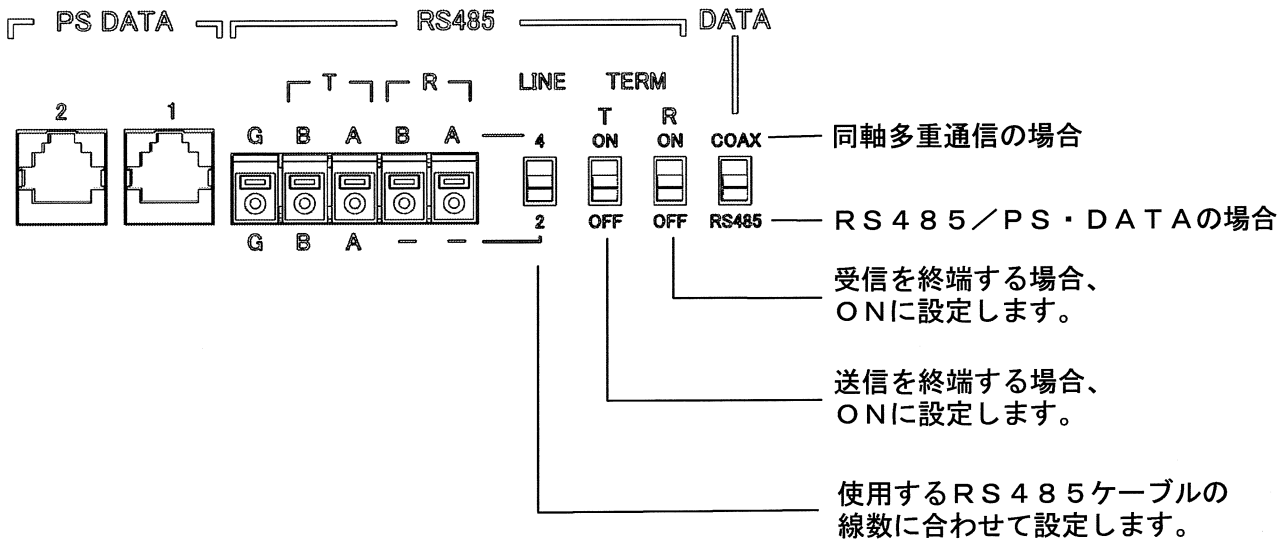
コンビ―ネーションカメラ及びシステム機器を本機に接続する場合、ＤＡＴＡスイッチで本機とカメラ間の通信方法を設定します。

ＴＥＲＭＩＮＡＬスイッチやＬＩＮＥスイッチは必要に応じて設定します。

本機 ←→ カメラ間の通信を同軸多重通信でおこなう場合 ： ＣＯＡＸ

本機 ←→ システム機器間の通信をおこなう場合 ： ＲＳ４８５

本体後面



スイッチの設定は

各スイッチは電源スイッチをＯＦＦにしてから設定してください。電源スイッチがＯＮの状態で切り換えることはできません。

同軸多重通信について

同軸多重通信の場合、映像出力信号にコンビネーションカメラを操作するための制御信号を重畳します。このため、同軸ケーブル１本で本機←→カメラ間を接続できます。ただし、本機←→カメラ間の最大延長距離が、１．２Ｋｍまで（５Ｃ－２Ｖ）という制限があります。

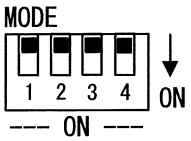
ＭＯＤＥスイッチの設定

ＭＯＤＥスイッチを設定します。

● 動作モードの設定

・PS・Dataモードの場合

後面のMODEスイッチの１番をＯＦＦに設定してください。



● ユニットセットアップメニューの表示設定

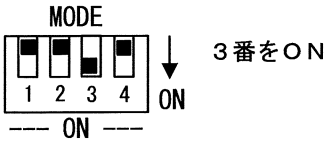
ＰＳ・Ｄａｔａモードの場合、システム機器のユニットセットアップメニューの表示を有効にするためにＭＯＤＥスイッチを設定します。

・ユニットセットアップメニューを表示する場合

後面のＭＯＤＥスイッチの３番をＯＮに設定してください。

ユニットセットアップメニューの操作方法は、４１ページをご覧ください。

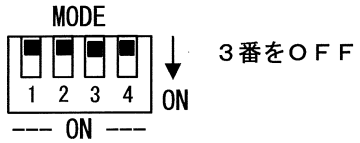
・ユニットセットアップメニューを表示する



・ユニットセットアップメニューを表示しない場合

後面のＭＯＤＥスイッチの３番をＯＦＦに設定してください。

・ユニットセットアップメニューを表示しない



コントローラー番号の設定

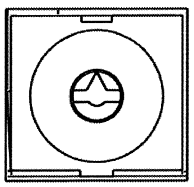
● PS・Dataモードの場合

本機を複数台ディジーチェーン接続して使用するときに設定します。コントローラーの番号は他のシステムコントローラーと重複しないように設定してください。本機は１システム中に３台まで接続できます。

本機１台でシステム機器を操作するときはお買い上げ時の状態「１」のまま使用してください。

＜設定可能範囲＞１～８

「０」と「９」は予備の番号のため、使用できません。



本機のセットアップメニューを表示・設定する

● ＰＳ・Ｄａｔａの場合

＜基本操作＞

コントローラーセットアップメニューを表示します。

1. ON □ を押します

各メニュー選択画面がディスプレイに表示されます。

メニューA
<-　カメラ セットアップ　->

2. ◀□ □▶ の ◀□　□▶ を押します

メニューＢを選択します。

メニューB
<-　セットアップ　->

3. SET □ を押します

コントローラーのディスプレイに
コントローラーセットアップメニューが表示されます。

コントローラ
→スイッチ ブザー
　アラーム ブザー

4. 設定を終了するときは

OFF □ を押します

設定終了の文字メッセージが表示され、セットアップを開始する前の状態に戻ります。

セッテイシマシタ

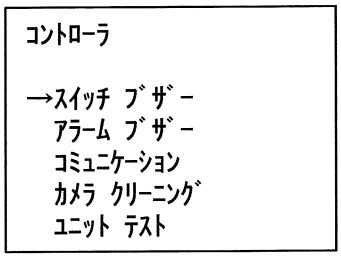
操 作	内 容
◀□ □▶	カーソルの移動および設定値の変更をおこないます。
SET □	下層メニューに移動するときもしくは設定値の確定に使います。
ESC □	上層メニューに戻るときに使います。

セットアップのしかた

＜コントローラーセットアップメニューの概要＞

コントローラーセットアップメニューで次の項目を設定できます。

項目を選択後、設定ボタンを押すと設定の変更もしくはサブメニューの画面が表示されます。



（1）スイッチ ブザー　設定を変更します。

（2）アラーム ブザー　設定を変更します。

（3）コミュニケーション　メニューを表示します。

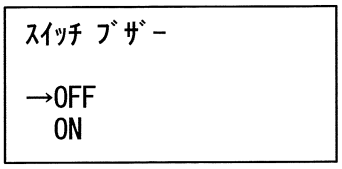
（4）カメラ クリーニング　メニューを表示します。

（5）ユニット テスト　メニューを表示します。

＜スイッチ ブザー設定の概要＞

スイッチ ブザー設定で次の項目を設定できます。

項目を選択後、設定ボタンを押すと設定の変更ができます。



（1）スイッチ ブザー

本機のボタンを押したときに確認音をならすかどうかを設定します。

ＯＮ　　：確認音をならします。

ＯＦＦ　：確認音をならしません。（工場出荷時）

＜アラーム ブザー設定の概要＞

アラーム ブザー設定で次の項目を設定できます。

項目を選択後、設定ボタンを押すと設定の変更ができます。

（1）アラーム ブザー

アラームが発生した場合に、本機で内蔵されているブザーをならすかどうかを設定します。ブザーをならし続ける時間はアラームシュツリョクの項目で設定した時間となります。

ＯＮ　　：ブザーをならします。（工場出荷時）

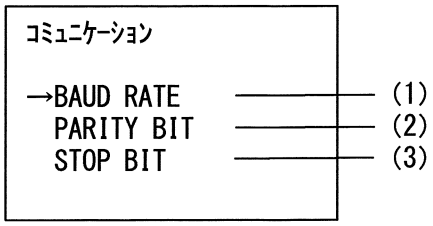
ＯＦＦ　：ブザーをならしません。

セットアップのしかた

＜コミュニケーション メニューの概要＞

コミュニケーション メニューで次の項目を設定できます。

項目を選択後、設定ボタンを押すと設定の変更ができます。



（1）通信速度を設定します。

この設定は通信する機器間で同じ値にする必要があります。

＜設定可能範囲＞

２４００、４８００、９６００(工場出荷時)、１９２００（単位：bps）

（2）パリティチェックを設定します。

この設定は通信する機器間で同じ値にする必要があります。

＜設定可能範囲＞

NONE ：パリティなし。(工場出荷時)

EVEN ：偶数パリティに設定します。

ODD ：奇数パリティに設定します。

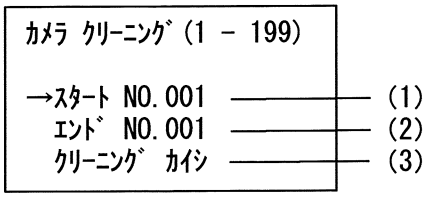
（3）ストップビットを設定します。

この設定は通信する機器間で同じ値にする必要があります。

＜設定可能範囲＞ １ＢＩＴ(工場出荷時)、２ＢＩＴ(単位：bps)

＜カメラ クリーニングの概要＞

カメラ クリーニングで次の項目を設定できます。



（1）スタート NO.

カメラクリーニングを開始するカメラ番号を選択します。

の ▫▸ を押すことで数字が増加し、

の ◂▫ を押すことで数字が減少します。

カメラ番号は１～１９９まで選択が可能です。

（2）エンド NO.

カメラクリーニングを終了するカメラ番号を選択します。

の ▫▸ を押すことで数字が増加し、

の ◂▫ を押すことで数字が減少します。

カメラ番号は１～１９９まで選択が可能です。

スタートNO. より少ないカメラ番号を選択することはできません。

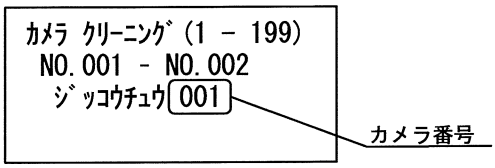
（3）クリーニング カイシ

スタートNO. からエンドNO. のカメラに対してカメラクリーニングを実行します。

実行すると右の画面が表示されます。

カメラクリーニングが終了すると「ジッコウチュウ」から「カンリョウ」の表示に変わります。

※ カメラクリーニングを中止する場合は、ESC を押します。



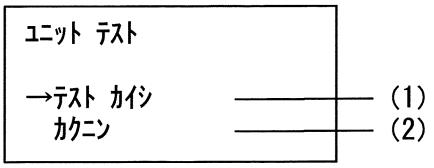
操作をおこなう前に

アラーム抑止の設定をしてからカメラクリーニングを実行してください。

セットアップのしかた

<ユニット テストの概要>

ユニット　テストで次の項目を確認できます。



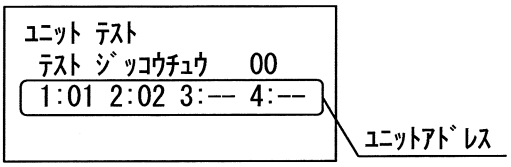
（1）テスト　カイシ

ユニットアドレス１～９９に対して機器接続テストを行い、接続されているシステム機器のユニットアドレスを４台まで表示します。

テストが終了すると、

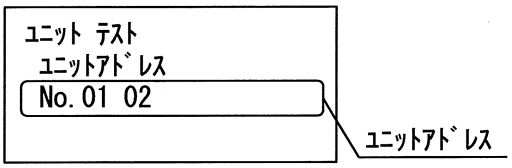
「テストジッコウチュウ」の表示から「テストカンリョウ」の表示に変わります。

※ テストを中止する場合は、 ESC を押します。



（2）カクニン

ユニットテストで接続を確認したシステム機器のユニットアドレスを表示します。



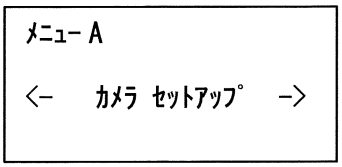
● 同軸多重制御の場合

＜基本操作＞

コントローラーセットアップメニューを表示します。

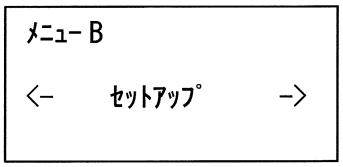
1. ON □ を押します

各メニュー選択画面がディスプレイに表示されます。



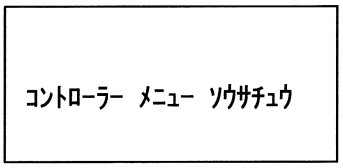
2. ◄□ □► の ◄□ □► を押します

メニューＢを選択します。



3. SET □ を押します

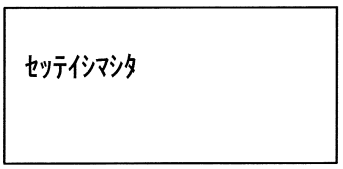
モニターにコントローラーセットアップメニューが表示されます。



4. 設定を終了するときは

OFF □ を押します

設定終了の文字メッセージが表示され、セットアップを開始する前の状態に戻ります。



操 作	内 容
◄□ □►	カーソルの移動および設定値の変更をおこないます。
SET □	下層メニューに移動するときもしくは設定値の確定に使います。
ESC □	上層メニューに戻るときに使います。

セットアップのしかた

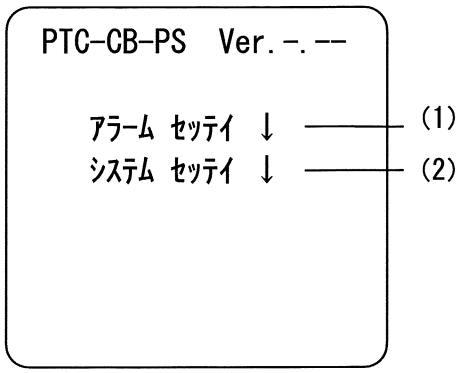
＜コントローラーセットアップメニューの概要＞

コントローラーセットアップメニューで次の項目を設定できます。

項目を選択後、設定ボタンを押すとサブメニューの画面が表示されます。

（1）アラームセッテイ　メニューを表示します。

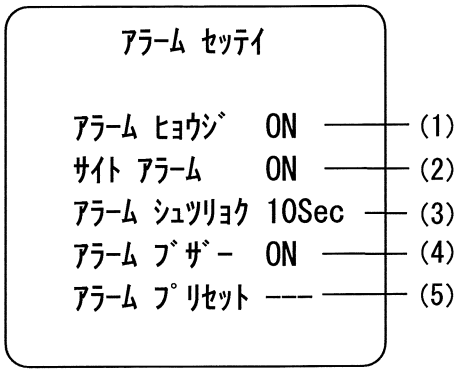
（2）システムセッテイ　メニューを表示します。



＜アラームセッテイ メニューの概要＞

アラームセッテイ メニューで次の項目を設定できます。

項目を選択後、設定ボタンを押すと設定の変更ができます。



（1）アラーム ヒョウジ

アラームが発生した場合、文字（ＡＬＡＲＭ）をモニターに表示する／しないを設定します。

ＯＮ　：文字（ＡＬＡＲＭ）を表示します。（工場出荷時）

ＯＦＦ　：文字（ＡＬＡＲＭ）を表示しません。

（2）サイト アラーム

カメラから発するアラーム信号（カメラサイトアラーム）の有効／無効を設定します。

ＯＮ　：有効にします。（工場出荷時）

ＯＦＦ　：無効にします。

（3）アラーム シュツリョク

アラームが発生した場合、アラーム動作を継続する時間を設定します。（設定時間は各アラーム動作共通です。）

・モニターに文字（ＡＬＡＲＭ）を表示する時間（アラームヒョウジ　ＯＮ時）

・外部機器にアラーム信号を出力する時間（ＡＬＡＲＭ　ＯＵＴ端子から出力）

・本機に内蔵されているブザーをならし続ける時間（アラームブザー　ＯＮ時）

設定時間を経過すると、アラームは自動的に解除されます。

＜設定可能範囲＞　１Ｓｅｃ～ １０Ｓｅｃ（１秒単位）、１０Ｓｅｃ～ ５０Ｓｅｃ（１０秒単位）、
１Ｍｉｎ ～ １０Ｍｉｎ（１分単位）、
ＥＸＴ（外部機器でアラームを解除）、
ＯＦＦ（アラーム動作をおこないません）

※ 工場出荷時は、「１０Ｓｅｃ」に設定されています。

（4）アラーム ブザー

アラームが発生した場合に、本機で内蔵されているブザーをならすかどうかを設定します。ブザーをならし続ける時間はアラームシュツリョクの項目で設定した時間となります。

ＯＮ　：ブザーをならします。（工場出荷時）

ＯＦＦ　：ブザーをならしません。

（5）アラームプリセット

アラームが発生した場合に、モニターに表示する映像のプリセット番号を設定します。この設定は本機にコンビネーションカメラを接続している場合に有効です。

＜設定可能範囲＞　１ ～ ２５６（プリセット番号）、
---（割り当てなし）

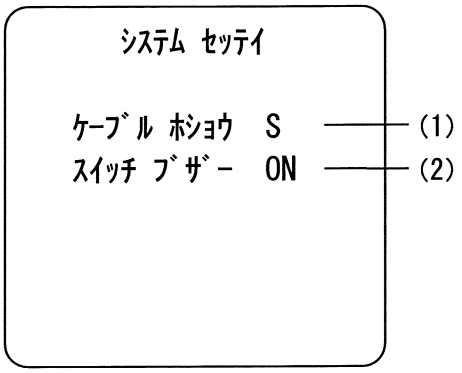
※ 工場出荷時は、「---（割り当てなし）」に設定されています。

セットアップのしかた

＜システムセッテイ メニューの概要＞

システムセッテイ メニューで次の項目を設定できます。

項目を選択後、設定ボタンを押すと設定の変更ができます。



（1）ケーブル ホショウ

カメラから送られてくる映像信号のケーブルによる伝送ロスを補償します。ケーブルの長さや背景の映像の画質に合わせて設定します。

S　　：本機←→カメラの距離が５００m未満 ※
M　　：本機←→カメラの距離が５００～９００m ※
L　　：本機←→カメラの距離が９００～１２００m ※

※ この値は、５C－２V同軸ケーブルを使用した場合の目安です。

※ 工場出荷時は、「S」に設定されています。

（2）スイッチ ブザー

本機のボタンを押したときに確認音をならすかどうかを設定します。

ON　　：確認音をならします。
OFF　：確認音をならしません。（工場出荷時）

システム機器をセットアップする

＜基本操作＞

ユニットセットアップメニューを表示します。ＰＳ・Ｄａｔａモードでのみ設定できます。

1. ON □ を押します

各メニュー選択画面がディスプレイに表示されます。

メﾆｭｰ A
<-　ｶﾒﾗ ｾｯﾄｱｯﾌﾟ　->

2. ◀□ □▶ の ◀□　□▶ を押します

メニューＣを選択します。

メﾆｭｰ C
<- ﾕﾆｯﾄ　ｾｯﾄｱｯﾌﾟ　->

3. ◀□ □▶ の ◀□　□▶ を押します

ユニットアドレスを選択します。

ﾕﾆｯﾄｱﾄﾞﾚｽ　ｼﾃｲ
<-　　01　　->

4. SET □ を押します

モニターにユニットセットアップメニューが表示されます。

ﾕﾆｯﾄ　ﾒﾆｭｰ　ｿｳｻﾁｭｳ

5. 設定を終了するときは

OFF □ を押します

設定終了の文字メッセージが表示され、セットアップを開始する前の状態に戻ります。

ｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ

操 作	内 容
◀□ □▶	カーソルの移動および設定値の変更をおこないます。
◀▶	設定値の変更をおこないます。
SET □	下層メニューに移動するときもしくは設定値の確定に使います。
ESC □	上層メニューに戻るときに使います。

※　システム機器によって操作方法やメニューの項目は異なります。システム機器の取扱説明書をお読みください。

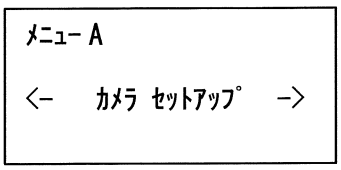
カメラをセットアップする

＜基本操作＞

カメラセットアップメニューを表示します。

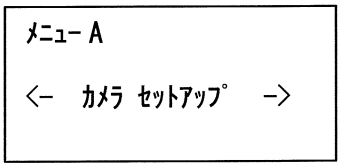
1. ON □ を押します

各メニュー選択画面がディスプレイに表示されます。



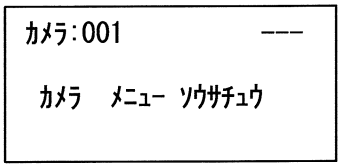
2. ◀□▲□▼□▶ の ◀□ □▶ を押します

メニューＡを選択します。



3. SET □ を押します

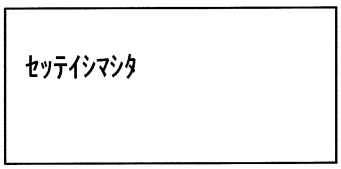
モニターにカメラセットアップメニューが表示されます。



4. 設定を終了するときは

OFF □ を押します

設定終了の文字メッセージが表示され、セットアップを開始する前の状態に戻ります。



操 作	内 容
◀□▲□▼□▶	カーソルの移動および設定値の変更をおこないます。
SET □	下層メニューに移動するときもしくは設定値の確定に使います。
ESC □	上層メニューに戻るときに使います。

※ カメラによって操作方法やメニューの項目は異なります。カメラの取扱説明書をお読みください。

工事説明

⚠警告、⚠注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

● **電源について**

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

（1）電源制御ユニットを介して接続する。

（2）電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）を介して接続する。

（3）3.0mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

● **直射日光の当たる場所での使用は避けてください。**

高温下での使用は避けてください。

● **ていねいにお取り扱いください。**

落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。

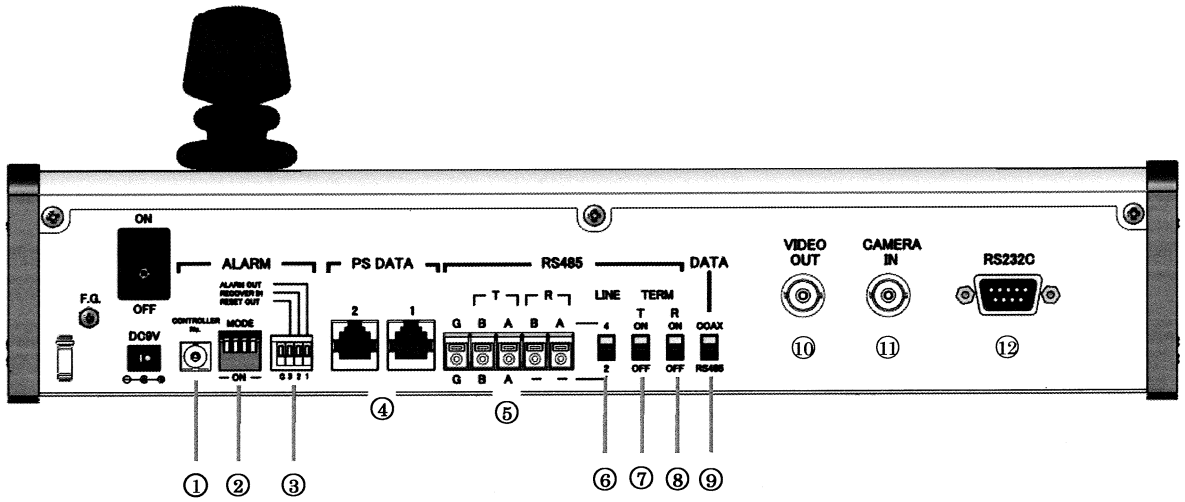
● **使用温度範囲をお守りください。**

0℃以下の寒いところや、＋40℃以上の暑いところで使用しないでください。

● **厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。**

各部の名前と働き

＜後面＞



① コントローラー番号設定スイッチ［ CONTROLLER NO. ］
本機を複数台使用するときに設定します。通常、お買い上げ時の状態「１」のまま使用してください。

② モード設定スイッチ［ MODE ］
本機の設定内容を変更するときに使います。

③ アラーム端子［ ALARM ］
本機のアラーム出力するとき、復帰信号によりアラーム解除するときに使います。
PS DATA通信を使用する場合、使用できません。

④ データ端子［ PS DATA １／２ ］
本機とシステム機器をモジュラーケーブルで接続するときに使います。本機を増設するときも使います。

⑤ RS485 端子［ RS485 ］
RS485通信でカメラを制御するときに使います。
本機では、ＲＳ４８５でカメラ制御できないため使用しません。

⑥ ４線/2 線切換スイッチ［ LINE ］
RS４８５通信及びPS DATA通信でカメラを使用する場合に使用します。カメラ側の設定と合わせてください。
４：４線式（全二重）
２：２線式（半二重）

⑦ 終端スイッチ(送信)［ TERM T ］
PS DATA通信を使用する場合、本機が終端となるときONにします。接続機器に合わせて設定してください。

⑧ 終端スイッチ(受信)［ TERM R ］
PS DATA通信を使用する場合、本機が終端となるときONにします。接続機器に合わせて設定してください。

⑨ 通信モード切換スイッチ［ DATA ］
通信モードを切り換えるときに使います。
COAX　：カメラと同軸多重で通信する場合
RS485　：カメラとＰＳ・Ｄａｔａで通信する場合

⑩ 映像出力端子［ VIDEO OUT ］
他の機器に、CAMERA IN端子に入力した映像を出力するときに使います。

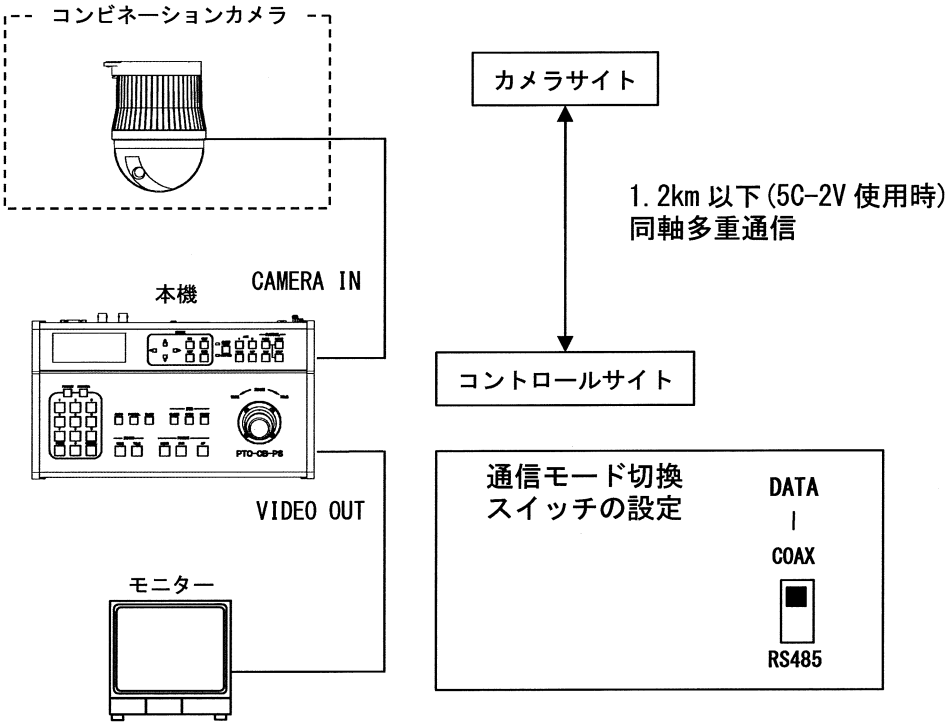
⑪ 映像入力端子［ CAMERA IN ］
カメラやレシーバーの映像出力と接続します。

⑫ スイッチャー制御コネクタ［ RS232C ］
スイッチャー機器と接続します。
本機では、スイッチャー制御できないため使用しません。

接続のしかた

同軸多重制御の場合

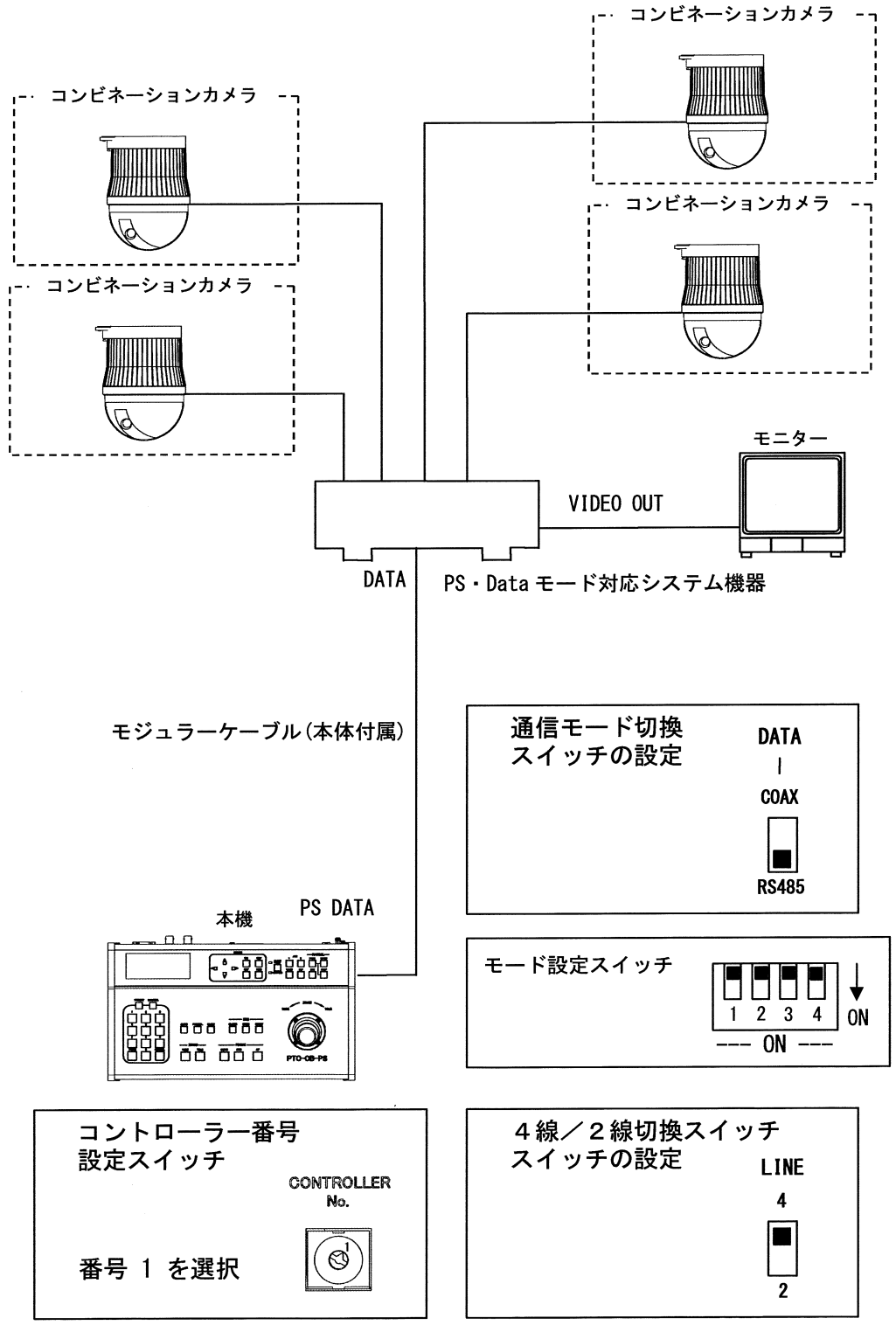
● 基本的な接続のしかた



※ 本機と屋外機器を接続する場合、
雷サージに対する保護をおこなってください。

ＰＳ・ＤＡＴＡの場合（一部機器を除く）

● 基本的な接続のしかた

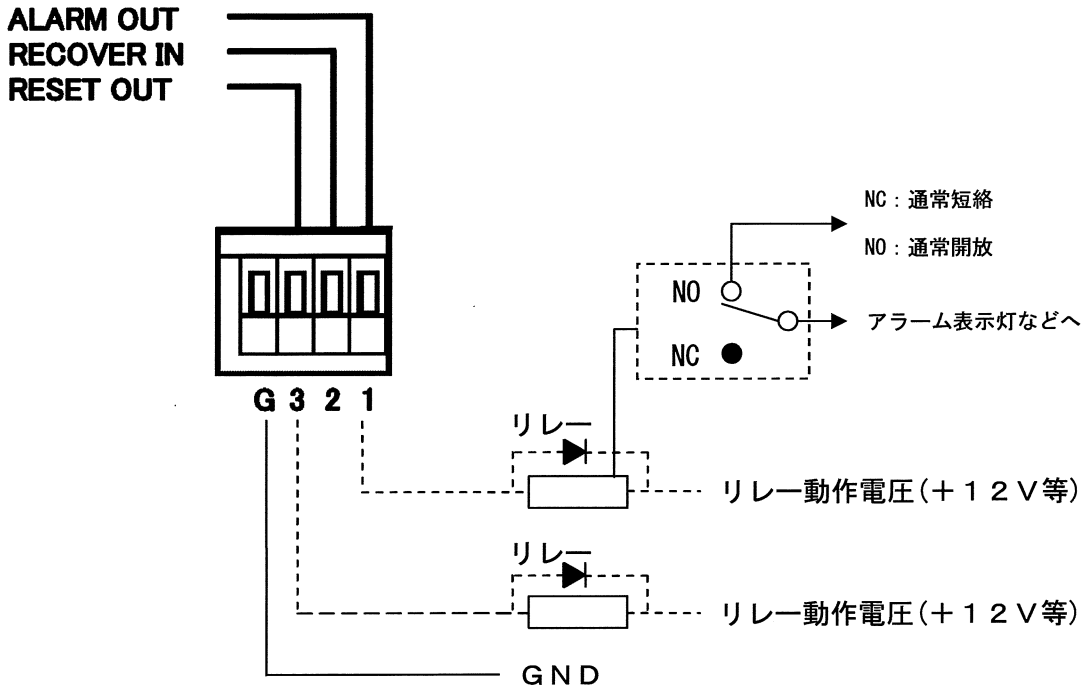


※ 本機と屋外機器を接続する場合、
雷サージに対する保護をおこなってください。

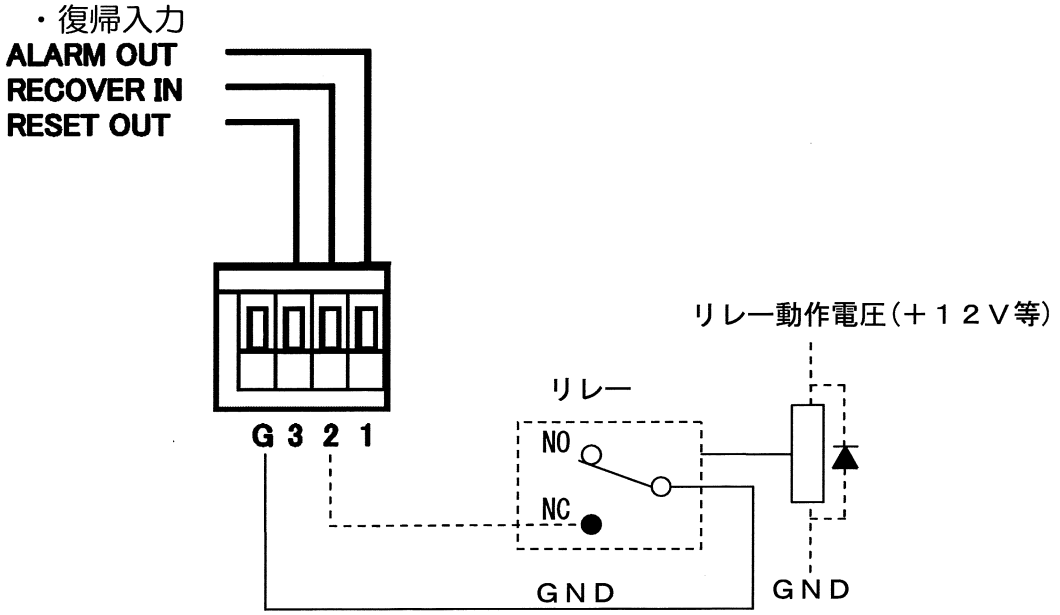
● アラーム機器との接続

本機のアラーム出力は、オープンコレクタ出力です。端子の接点容量は、直流電圧５０Ｖ以下、電流300mA以下です。必要に応じて、リレーなどを使用してください。

・アラーム出力



・復帰入力



※ ＰＳ ＤＡＴＡ通信を使用する場合、使用できません。
別売りの同軸多重ユニット ＰＴＣ－ＭＣＸ－ＰＳのアラーム端子を使用してください。

仕様

● 基本仕様

使用条件	：屋内 卓上等
使用温度	：0℃ ～ ＋40℃
使用湿度	：90%RH 以下　但し結露なきこと
電源	：DC9V　0.3A
筐体材質	：アルミ及び鋼板
外観処理	：塗装色 マンセル 5Y8/1 半ツヤ
質量	：約 2.0 kg
選択可能ユニット	：１ ～ ９９（ＰＳ・Ｄａｔａモード）
選択可能カメラ	：１ ～ １９９（ＰＳ・Ｄａｔａモード）
コントローラー番号設定範囲	
	：１ ～ ８

● データ入出力

データ入出力	：モジュラージャック RJ11［PS DATA １／２］
	RS485 相当、４線(全二重)、
	通信速度 2400 / 4800 / 9600 /19200 bps
データ入出力	：5ﾋﾟﾝ端子台 ［RS485］
	RS485 相当、４線(全二重)/２線(半二重)切換
	通信速度 2400 / 4800 / 9600 /19200 bps
データ入出力	：D-SUB 9ﾋﾟﾝ ［RS232C］
	RS232 相当、４線(全二重)

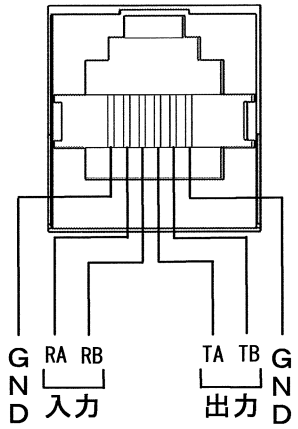
● 入力

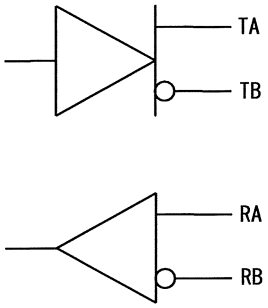
アラーム入力	：4ﾋﾟﾝ端子台 ［RECOVER IN］
	無電圧メイク接点
カメラ入力	：BNC 座 ［CAMERA IN］
	コンポジット映像信号（制御信号多重）1Vp-p / 75Ω

● 出力

映像出力	：BNC 座 ［VIDEO OUT］
	コンポジット映像信号　1Vp-p / 75Ω
アラーム出力	：4ﾋﾟﾝ端子台 ［ＡＬＡＲＭ ＯＵＴ／ＲＥＳＥＴ ＯＵＴ］
	オープンコレクタ出力　DC50V、300mA 以下

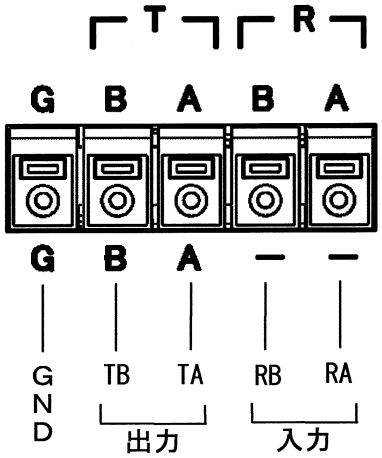
● データ端子（モジュラージャック）の仕様

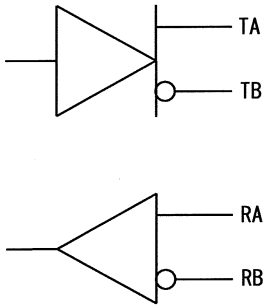




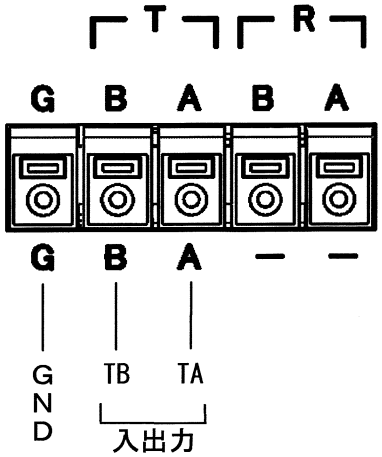
● データ端子（5ピン端子台）の仕様

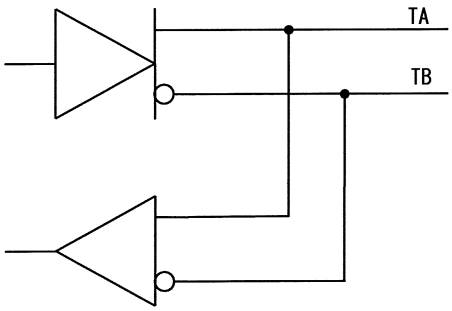
・RS485（4W）





・RS485（2W）





—MEMO—

お買い上げ年月日	年　　月　　日
製造番号（Ser. NO）	

特機営業部／〒２２５－００１４　神奈川県横浜市青葉区荏田西１－５－２３
Tel.　０４５－９１４－８２２２
Fax.　０４５－９１４－６８３１

西日本支店／〒５３１－００７２　　大阪市北区豊崎２－７－９豊崎いずみビル９Ｆ
Tel.　０６－６３７６－１８２１（代）
Fax.　０６－６３７６－２０７１

仕様は予告無く変更される場合がありますので、ご了承ください。

MUM0366-3

2013.1

MIKAMI & CO., LTD.